

平成 29 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
 (障害者政策総合研究事業 (精神障害分野))
 精神科医療提供体制の機能強化を推進する政策研究
 分担研究報告書

病院の構造改革に関する「好事例」とそのプロセスの検討に関する研究
 研究分担者 来住 由樹 (岡山県精神科医療センター)

研究要旨

精神科病院の危機的状況は、すべての病院にあり、霧がかかって見通しがつきにくい状況は全ての病院に共通している。地域包括ケア体制の中で、精神科医療も構造改革が迫られているが、変化のスピードは遅い。また一方で精神科医療に要請されるニーズは広がりを見せており、5 疾病 5 事業の他の領域との協働など具体化すべき課題も多い。

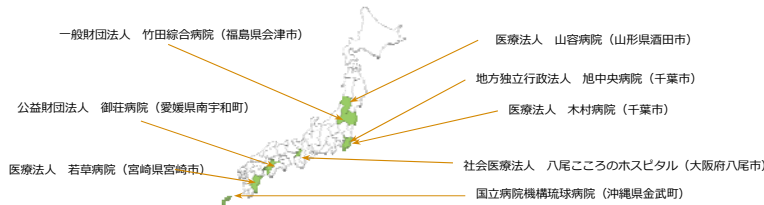
このような状況の中での病院構造改革の「好事例」の抽出にあたり、基本に据えた考え方は、既存の構造改革モデルはないということである。すなわち構造改革は完成と同時に劣化が始まっており、現在は、「変化の連続」が要請されているからである。

求められる「構造改革」は、「地域ニーズの変化に対応する病院となること」であるが、構造改革を推し進める「梃子」となる事業・手法は、立地する地域特性ごとに多様である。そこで地域ニーズの変化にスピード感をもって対応している構造改革「好事例」病院を列記し、「梃子となる事業・手法」を抽出することとした。それにより個々の医療機関が構造改革に取り組む時には、「梃子」として活用できることを目指した。

病院の構造改革に関する「好事例」とそのプロセスの検討 未住分担研究

II 病院の構造改革 地域責任性の具体化: 圏域での役割の明確化

【前提】精神科病院の危機的状況は、すべての病院にある。霧がかかって見通しがつきにくい状況は全ての病院に共通している。⇒ 閉塞感を突き抜ける、方向性を感じさせるもの集積する。
 【方法】「着眼点×梃子となる事業・手法」で整理。「要素 (アイテム)」としての「好事例」を探す。
 ∴ 完成したものは既に劣化が始まっている。病院全体の好事例は仮にあったとしても取り入れる事は難しい。



着眼点1 圏域の高齢化・人口減少への対応

総合病院： 一般財団法人	竹田総合病院 (福島県会津市) 248⇒144床 会津地域 29万人	発端：病院の建て替え 梃子：地域移行・地域定着支援事業
総合病院： 地方独立行政法人	旭中央病院 (千葉県旭市) 237⇒40床 海匝地域 36万人	発端：地域精神科医療の危機 梃子：複数精神科病院での役割分担協議
精神科病院：公益財団法人	御荘病院 (愛媛県南宇和郡) 149⇒ 0床(診療所へ) 宇和島地区 11万人	発端：法人内での理念の共有 梃子：同一医療法人内の他病院の支援
精神科病院：医療法人	積善病院 (岡山県津山市) 津山・勝英地域 18万人	発端：長期入院問題への取り組みを決議 梃子：地域移行機能強化病棟

着眼点2 統合失調症治療拠点

精神科病院：医療法人	若草病院 (宮崎市) 174⇒104床 県央地区 50万人	発端：病院機能の明確化 梃子：クロザピン治療
精神科病院： 独立行政法人国立病院機構	琉球病院 (沖縄県金武町) 430⇒406床 (機能分化) 沖縄県140万人	発端：病院機能の明確化 梃子：クロザピン病棟

着眼点3 自治体内での役割の明確化

精神科病院：社会医療法人	八尾こころのホスピタル(大阪府八尾市) 八尾市 27万人	発端：八尾市での役割の明確化 梃子：地域移行機能強化病棟
--------------	---------------------------------	---------------------------------

着眼点4 総合病院・地域母子保健とのネットワーク構築

精神科病院：医療法人	木村病院 (千葉県) 252⇒197床 千葉県 97万人	発端：病院機能の明確化 梃子：精神科救急 周産期メンタルヘルス
------------	---------------------------------	------------------------------------

着眼点5: 地域医療全体の中での役割の明確化地域連携推進法人

精神科病院：医療法人	山容病院 (千葉県) 220床 庄内医療圏 28万人	発端：病院機能の明確化 梃子：日本海ヘルスケアネット
------------	-------------------------------	-------------------------------

結 果	病院の構造変革「好事例」を着眼点×梃子となる事業・手法を類型して抽出した。
今後の予定	他の着眼点・梃子の視点からも抽出をおこなう。病院毎の個別レポートを作成。

研究協力者

野木 渡	浜寺病院
大久保 圭策	大久保クリニック
大鶴 卓	国立病院機構 琉球病院
水野 謙太郎	医療法人如月会 若草病院
池田 俊一郎	関西医科大学精神神経科
村田 昌彦	国立病院機構 榊原病院
上島 雅彦	竹田綜合病院
名雪 和美	国保旭中央病院
大野 美子	愛知県健康福祉部障害福祉課
長野 敏宏	公益財団法人正光会 御荘診療所
渡邊 博幸	医療法人 学而会 木村病院
佐野 亘	岡山県精神科医療センター
関 英一	岡山県精神科医療センター

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録（予定を含む）

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし

- 病院の構造改革に関する「好事例」とそのプロセスの検討を行う為、好事例病院に関する調査を行った。
- 地域責任性の具体的な実現の為、キャッチメントエリア（2次・3次医療圏）での役割を明確化する為、各々の例に対し着眼点と梃子を作成した。

着眼点1 圏域の高齢化・人口減少への対応

- ①梃子：精神障害者地域移行・地域定着支援事業
- ②梃子：地域包括ケア体制での複数の精神科病院の役割分担協議
- ③梃子：同一医療法人内での支援・理念の共有
- ④梃子：地域移行機能強化病棟 長期入院者の地域移行・定着

着眼点2 統合失調症治療拠点

- ④梃子：クロザピン治療 入院中心から地域医療への転換
- ⑤梃子：クロザピン病棟 クロザピン治療県内拠点

着眼点3 自治体内での役割の明確化

- ⑥梃子：地域移行機能強化病棟
自治体内唯一の精神科病院として同自治体内精神科医療ニーズに全て対応

着眼点4 総合病院・地域母子保健とのネットワーク構築

- ⑦梃子：精神科救急＋周産期メンタルヘルス拠点

着眼点5 地域医療全体の中での役割の明確化

- ⑧梃子：地域医療連携推進法人
複数の総合病院と診療所、社会福祉法人、精神科病院等が役割分担・連携

それぞれの着眼点・梃子における、好事例については図に例示した。